

## 総合花巻病院

Q 阿部 一男 議員

総合花巻病院の耳鼻咽喉科、泌尿器科、眼科、小児科、皮膚科、助産師外来の医師確保の状況について伺う。

A 市長

耳鼻咽喉科、泌尿器科、脳神経外科等8つの診療科目は非常勤医師の配置または非常勤医師の兼任によって診療を継続できる見込み。眼科、小児科、皮膚科、産婦人科医師については医師確保の目途が立っていない。

## 男女共同参画

Q 伊藤 益幸 議員

小中学校における入学式での男女混合名簿の導入状況と、保護者や児童生徒の反応について伺う。

A 教育長

今年度入学式では、小学校17校中12校、中学校11校中9校となっている。保護者からは、特に質問や意見はなく、男女共同参画が浸透しているとみている。児童から一部戸惑いもあったが、説明の上、理解を得られた。

## 国土利用計画

Q 阿部 一男 議員

産業団地整備および都市的土地利用計画の具体化に向けて市はどのような手法で誘導するのか伺う。

A 市長

産業団地は実相寺山の神地区が有力と考えている。また、都市的土地利用誘導エリアとした沖田地区については、今後の住宅需要の情勢を見たうえで農振法、都市計画法等の変更に向け準備を進める。



万一の災害に備え、土のう作成搬送訓練（7月7日花巻地区合同水防演習）

## 防災士育成

Q 菅原 ゆかり 議員

防災士資格取得後のスキルアップのための研修活動支援ができないか伺う。

A 市長

防災士は、避難所運営、防災訓練に積極的に参加し、組織のリーダーとして活動することが役割。県では9月に防災士養成講座を開設、登録した防災士を対象としたフォロアップ研修を令和2年3月に開催予定。また、市としてもスキルアップ研修の実施について検討していく。

## 新興製作所跡地

Q 本館 憲一 議員

新興製作所跡地の問題について、議会報告会でも意見が出ており、市が取得して公園化するべきと考えるが、所見を伺う。

A 市長

当該地の上部平坦地のみ、または全部を購入したとしても、コンクリート殻や建物基礎くい等の除去費用等が極めて多額となる可能性がある中で、市として土地を取得し公園を整備するという判断はできないと考える。

## 消防活動

Q 櫻井 肇 議員

消防活動困難性区域について、その定義と箇所数は。また、緊急車両の進入等に困難を来すと危惧されるが認識と見解を伺う。

A 市長

消防活動困難性区域は、木造建築物が密集する地域を対象とし、消防車両の進入が困難であることや、消防水利が離れている地域としている。

現在の対象箇所数は、花巻地域48カ所、大迫地域11カ所、石鳥谷地域8カ所、東和地域4カ所となっている。

また、道路改良には多額の費用がかかることから、整備の緊急性を踏まえ検討していく。



狭い道路も進入可能な消防団軽車両



エックス線検査による胃がん検診車

現在県内で選択制で実施しているのは盛岡市のみ。エックス線検査は約7100円、内視鏡検査では2倍の費用がかかるため、市の財政負担を勘案し、市医師会と協議の上、今後の検討課題とする。

**A** 市長

**Q** 菅原 ゆかり 議員

胃がん検診

胃がん検診受診者の身体的負担の軽減を考慮して、エックス線と内視鏡検査を選択制にできないか伺う。

## 市民と議会との懇談会【議会報告会】を開催します

- \* 日時 令和元年10月23日(水)・24日(木)・25日(金) 午後6時30分から
- \* 内容 9月定例会の概要、常任委員会の活動報告、議員との自由な意見交換

市議会の報告と市民の皆様からご意見などを伺う”市民と議会との懇談会”を下記会場にて開催いたします。

どの会場でも参加できますので、お気軽にご来場ください。

担当班のメンバー				
A班	B班	C班	D班	E班
横田 忍	羽山るみ子	菅原ゆかり	久保田彰孝	佐藤 峰樹
藤井 幸介	伊藤 盛幸	佐藤 現	照井 省三	照井 明子
高橋 修	内舘 桂	瀬川 義光	盛岡 耕市	若柳 良明
本舘 憲一	大原 健	阿部 一男	藤原 晶幸	佐藤 明
藤原 伸	櫻井 肇	伊藤 源康	鎌田 幸也	近村 晴男

会場と担当班		
10月23日(水)	10月24日(木)	10月25日(金)
宮野目振興センター (A班)	谷内振興センター (A班)	内川目振興センター (A班)
太田振興センター (B班)	八重畑振興センター (B班)	小山田振興センター (B班)
外川目振興センター (C班)	松園振興センター (C班)	八日市振興センター (C班)
八幡振興センター (D班)	笹間振興センター (D班)	田瀬振興センター (D班)
浮田振興センター (E班)	大瀬川振興センター (E班)	花巻市文化会館 (E班)

※今年度は27コミュニティ地区で開催予定で、上記以外の地区は令和2年2月に開催予定です。